



# 農業ばかりか、憲法まで壊す TPP !?!?!

日本IBMは二〇〇八年から千三百人をリストラ。二〇一二年、米本社から来た社長は、退職勧奨に応じた約五〇名を解雇。同僚に挨拶もさせず、職場から追放。米国流にこの解雇を東京地裁は違法で無効とした。地裁は「『本人の成績評価が悪い』という解雇理由は相対評価である。解雇に足る業績不良と認められるわけではない」とした。

相対評価なら必ず低い評価の者が出る。恣意的な評価もある。

**TPPでは**

TPPが成立したらどうなるか？TPPには外国投資家を保護するISD条項がある。

米国なら自由に解雇出来るのに、日本では出来ない。これは、不公平だからISD条項違反となる。

米国企業はTPPの仲裁裁判に訴える事が出来る。

この裁判は三名の仲裁人で行う。日本政府と米国投資家が各一人ずつ選び、その二人が合意した仲裁人。合意出来ないときには世界銀行総裁（議決権が出資に応じている世銀の歴代総裁は米国人）が指名。一審制。最高裁判官は国民審査があるが、それもない。日本の最高裁が下した判決も、覆される。

憲法七六条は司法権は裁判所に帰属としてある。しかし、ISD条項では最高裁の司法権が奪われる。これは憲法を壊すことだ。

米国企業はカナダの環境規制をISDで訴え、カナダは環境規制を撤廃させられた。

みなさんはどう思われますか？

## 立ち話

東京都足立区五反野コミュニティセンター



東京スカイツリーの北に千住がある。更に北、荒川を渡った所が小菅。駅の近くに五反野公園がある。その一角がコミュニティセンター・児童館。

絵を描いていると、お昼近く、コミュニティセンターでの会合を終えた人々が出て来た。挨拶を交わしながら散って行く。が、立ちどまって話の続きに余念が無いという方も。そして、暫くすると、小学校が終わったのだろう、沢山の小学生がやってきた。公園で遊び、又、児童館で一刻を過ごすのだろう。

ここに来たお年寄りが公園のベンチでおしゃべりしながら、子供達を眺めていた。



ドタ読下ページで、ムクコードや、スマートフォンでQRコードを読み取ることが出来ます。